りゅうおう

議会だより

No.199
2022年5月1日
滋賀県竜王町議会

竜王新古今八景

道の駅アグリパーク竜王を中心に広がる畑や果樹園

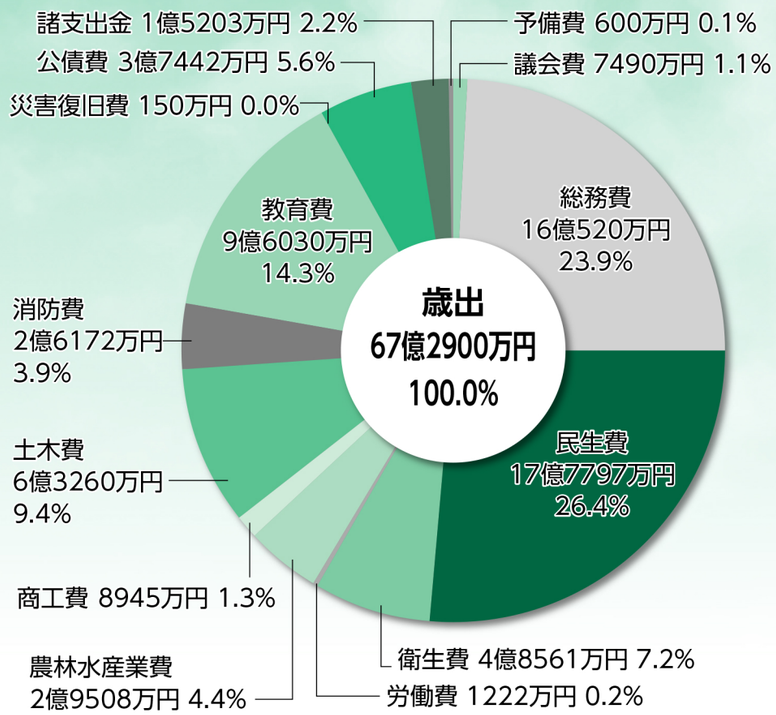
定例会報告 P2～ 将来を見据えた積極的予算
委員会報告 P6～ 新しいまちづくりをめざして
一般質問 P9～ コンパクトシティ化構想について

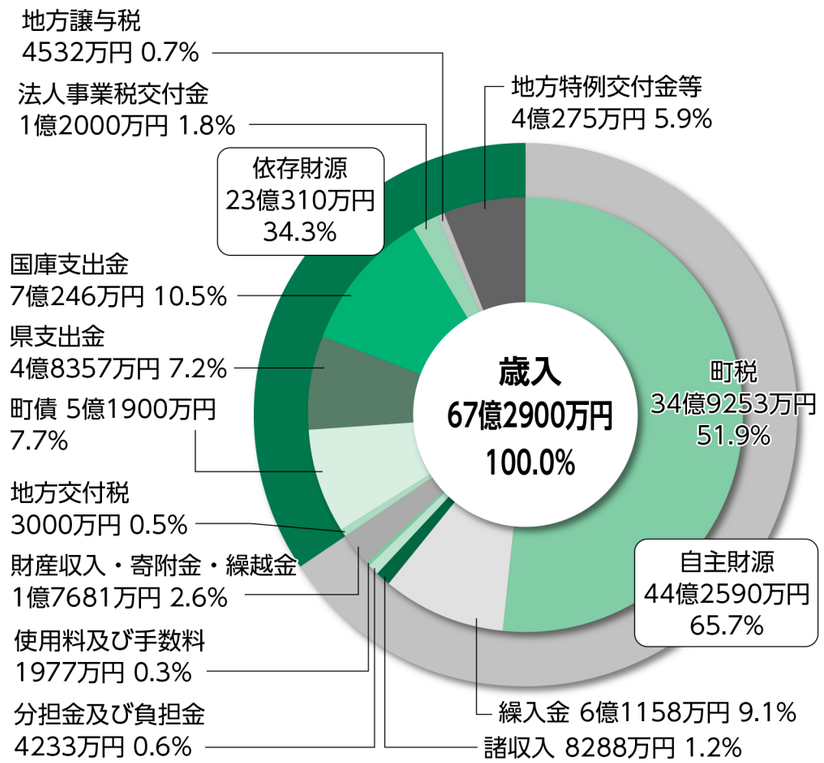
3月
定例会

3月定例会

67億円 可決

令和４年度一般会計予算　67億円（前年度差　7.3億円増額）
３月定例会を３月２日から25日までの24日間の会期で開催しました。
条例関係８件、補正予算９件、一般会計予算１件、特別会計予算５件、企業会計予算２件、その他３件を原案どおり可決しました。





主な質疑応答

総務部門

問　自治会館整備事業の補助限度額のアップは可能か。

答　他市町の助成状況、財政的な負担を考慮して限度額を設けている。町単独事業であり、５００万円を上限としている。

問　公有財産購入費の土地取得費の方法は。

答　不動産鑑定士による不動産鑑定額を基にしている。農地と転用を伴う２つの市場がある。

住民福祉部門

問　重層的支援会議の構成は。

答　福祉課、自立支援課、健康推進課と、事業内容により関係各課を加えて構成する。

産業建設部門

問　若い農業後継者を育てる研修施設などを設けてはどうか。

答　町規模での研修施設は困難。東近江管内で研修会等を進めていきたい。

問　耐震改修促進計画の見直しに際し、目標値は現実と合致するのか。

答　今回は、中間見直しであり、県との計画の調整が必要。

教育委員会部門

問　ＧＩＧＡスクール構想に基づいたタブレット端末の使用状況は。

答　中学校では家庭での活用を進め、授業の同時配信を実施している。小学校では、欠席児童の中で必要な場合は、授業の同時配信をしている。

問　竜王小学校建築設計業務委託の発注方法について、どのように考えているか。

答　プロポーザル方式を考えているが、検討段階のため、詳細については今後、検討する。

令和４年度当初予算に対する反対と賛成の討論

（「令和４年度竜王町一般会計予算」への討論から抜粋）

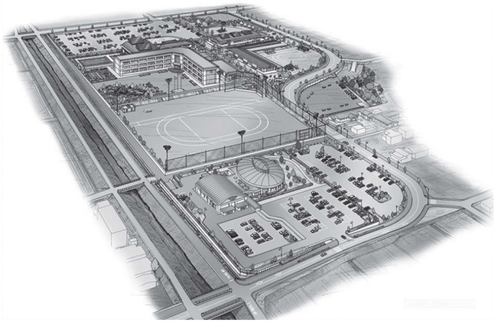
反対意見：中心核整備事業について、コロナ禍で先行き不透明な状況下で大型開発事業を進めるのは次世代へ多くの借金を増やすことに繋がるおそれがあり、慎重な対応をすべきではないか。

賛成意見：令和４年度当初予算は、前年度差7.3億円増の過去最大の予算となっている。今後も加速する少子高齢化や人口減少を見据えた中で、竜王町コンパクトシティ化構想の実現に向けた中心核整備事業は、着実に推進すべきである。

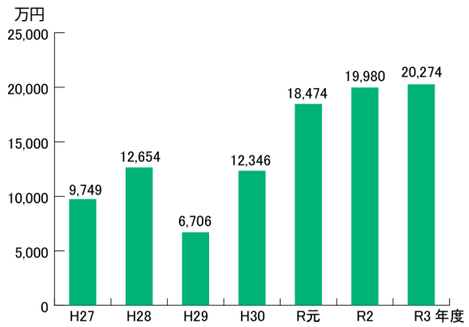
令和４年度 の主な予算

活力あふれるまちづくり　～発展・進化を生み出す豊かさの創造～

- コンパクトシティ化構想「交流・文教ゾーン」の造成・道路改築実施設計、用地取得等　**５億9219万円**
- 竜王小学校の移転新築に向けた準備　**２億2097万円**
- 農業振興地域整備計画の変更　**457万円**
- 橋梁の修繕工事と道路交通網の長寿命化　**１億1400万円**
- 幹線交通の維持・確保　**2433万円**
- ふるさと納税の推進　**7970万円**



「交流・文教ゾーン」の整備イメージ図



竜王町未来につなぐふるさと交竜寄附額の推移

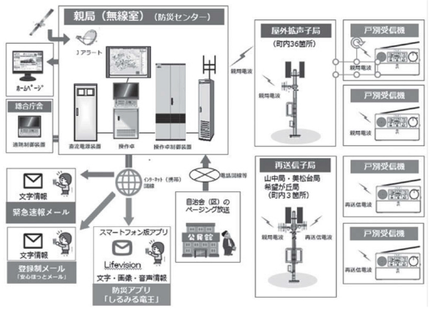
安心して暮らせるまちづくり　～次世代に引き継げるやさしさの創造～

- 放課後児童の健全な育成　**１億4732万円**
- きめ細かな教育の推進　**6479万円**
- 滋賀国民スポーツ大会に向けたスポーツクライミングの普及促進　**5190万円**

タブレット端末を利用した授業風景

みんなで進めるまちづくり　～新たな時代に対応したつながりの創造～

- 持続可能な地域コミュニティの推進　**2463万円**
- 自治会活動への支援　**2657万円**
- 先端技術を活用した行政サービスの提供　**１億3497万円**
- 竜王町防災行政情報システムの運用管理　**892万円**



防災行政情報システム図

新型コロナワクチン接種の様子

新型コロナウイルス感染症に対する主な予算

- ワクチン接種事業　**1029万円**
- 県制度融資「セーフティネット資金」の利用時における利子補給　**400万円**
- 保育士等処遇改善加算　**462万円**

１月臨時会

１月24日に臨時会を開催し、補正予算１議案が上程され、慎重審議の結果、原案のとおり可決しました。

中心核整備事業	**1240万円**
道路橋梁整備事業	**１億1600万円**
総合運動公園管理運営事業	**9930万円**

総務産業建設常任委員会

調査 第七次竜王町国土利用計画

総合的かつ計画的な土地利用を通じて安全性を高め、持続可能で豊かなまちを形成する町土利用を図ることを目的としており、第六次竜王町総合計画で掲げた10年後のあるべき姿「若者も暮らしたい　希望かなえる　輝竜の郷～心弾む　新時代へのチャレンジ～」の実現を土地利用の観点からめざすものである。

利用区分別の町土利用の基本方向

ア　**農地**：農地の保全・確保、農地の集積・集約の推進
イ　**森林**：森林の保全、周辺の環境に応じた整備や適正な利用の推進
ウ　**水面・河川・水路**：河川等の整備促進と既存用地の持続的な利用、河川改修と連携した流域まちづくりの取組を推進
エ　**道路**：広域的な交通ネットワークの形成、幹線道路のバイパス化の検討
オ　**宅地**：良好な居住環境の形成、災害リスクの高い地域での整備を適切に制限、必要な工業用地の確保と周辺土地利用との整合
カ　**その他**：公用・公共用施設整備への民間活力の誘導・活用

調査 竜王町都市計画マスタープラン（変更）

総合計画などの上位・関連計画を踏まえ、都市全体の将来像や土地利用、都市施設整備のあり方などを明確にし、おおむね20年後の都市の姿を展望しつつ、10年後を目標年次とした都市計画の基本的な方針を示すものである。

計画の役割と期間

①めざすべき将来像を示し、地域住民の理解と協働を促進する。
②個別の都市計画相互の調整を図る。
③個別の都市計画の決定・変更の指針となる。

「第六次竜王町総合計画」との整合を図るため、目標年次を令和12年度とする。

付託 竜王町課設置条例の一部を改正する条例

障害や発達に課題を有する方に対して、円滑な相談体制を構築するとともに、早期療育を含む施策の充実およびサービス基盤の整備を図ることを目的として、発達支援課と健康推進課障がい福祉係を統合し、「自立支援課」を新設することから、条例の一部改正を行うものです。

施行期日は、令和４年４月１日です。

報告 道の駅竜王かがみの里機能拡充検討状況ならびに町道山面鏡西線（かがみの里バイパス）について

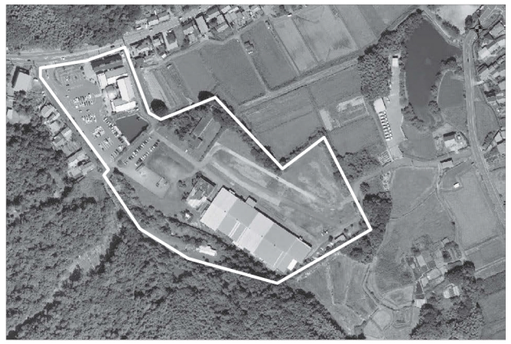
◇令和３年度に検討会議で議論された機能拡充の検討状況の内容、町道山面鏡西線の進捗状況について説明を受けた。

説明内容：定住促進機能、６次産業機能、子育て支援機能、地域商業機能などを複合的に持たせた土地利用とすべき。既存道の駅と相互に利用可能な一体性のある機能誘導と空間づくりが必要。

主な質疑応答

問 **機能拡充の完成はどれくらいを目標に考えているか。**

答 令和６年10月にワコールから残りの土地を買収する。開発するためには接続道路が必要になるため、用地取得や道路整備とあわせてスケジュールを考えていきたい。



道の駅竜王かがみの里機能拡充検討区域

道の駅竜王かがみの里

地域活性化特別委員会

調査 中心核整備（交流・文教ゾーン）の進捗について

◇12月14日から３月１日までの間に着手した業務および地元協議の内容。敷地造成、道路の概要、令和３年度の実施状況と令和４年度の事業予定について説明を受けた。

説明内容：埋蔵文化財試掘再調査実施に向けた調整・収用事業認定申請に向けた調整
綾戸地区と整備にかかる調整・活用できる補助金等の調査、協議。

主な質疑応答

問 **調整池から新川に流れるが、排水の能力は大丈夫か。**

答 新川への排水は、既存の排水路から流す予定である。排水路の高さは変えられないので、調整池は水路より高くし、水を絞って流すので問題はない。

教育民生常任委員会

調査 町における超々高齢化社会における歯科保健の重要性について

◇超々高齢化社会における年齢別人口の推移と将来推計

竜王町の65歳以上の高齢化率は2007年21%。2020年には28%の超々高齢化社会に。

2025年には全国で団塊の世代（800万人）が75歳（後期高齢者）となり、５人に１人が後期高齢者に。

介護給付費も2020年には、11兆円弱まで年々増加した。今後、介護現場における人材不足が極めて深刻な事態となることが予測される。

訪問歯科診療の様子

◇高齢者における歯の健康と医療費と健康寿命

調査結果から、歯の少ない人は病気がちで多い人は病気になりにくい。口腔内衛生の悪化は食欲の低下をまねき、要介護リスクを増加させる。このことから歯と口の健康維持は、健康寿命の延伸と生きがいを高める。

◇乳幼児期から高齢期までの切れ目ない「歯科保健体制」構築

保健行政・学校・歯科・地域・福祉関係者の連携した町民主体の健康づくりを支援する環境整備が必要である。

主な質疑応答

問 超々高齢化社会を迎えるにあたり、ケアマネジャーへの歯科にかかる研修会などでの水準の平準化を考えているのか。

答 ケアマネジャーにはさまざまな職種の方がおられるが、口内を見るのが不得手の方が多い。デイサービスとケアマネジャーと歯科が連携し、口腔の問題に取り組みやすくなるようデイサービスに働きかけたい。

調査 竜王小学校建設基本計画策定（中間報告）について

◇現在までの取組状況と今後の予定について説明

町主導で竜王小学校教員、コミュニティ・スクール学校運営協議会、竜王小学校の児童アンケートも参考に、竜王小学校建設基本計画策定委員会で、着実に基本構想のコンセプトのもと中心核整備構想を踏まえて竜王小学校の基本計画が進められていることを確認した。

主な質疑応答

問 竜王小学校の新たな建設にあたり今後竜王の子どもたちにどのような教育を考えているのか。

答 竜王の子どもたちが夢と志をしっかりと持って、郷土愛や地元愛を大事に育てることで、必ず竜王町に戻って来てくれて、心身ともに健康である元気な子どもに育てたい。

町政ここを問う!

３月定例会では10議員が 10問の一般質問を行いました。

ページ	質問者	質問事項
10	磯部俊男議員	• 新型コロナウイルス感染症対策について
	大前セツ子議員	• 竜王こども園と竜王西幼稚園の今後は
11	小西久次議員	• 竜王町総合計画に基づく今後のまちづくりについて
	福田優三議員	• 小児の新型コロナワクチン接種について
12	鎌田勝治議員	• 町としてのコンプライアンスの考え方は
	澤田満夫議員	• コンパクトシティ化構想における定住促進について
13	中村匡希議員	• 竜王中学校のジェンダーレス制服と制服の選択自由化について
	森島芳男議員	• 日野川堤防の補強対策は
14	尾川幸左衛門議員	• 公共施設の更新について
	橘せつ子議員	• 中心核整備の進め方について

※今回の一般質問は、新型コロナウイルス感染症予防のため、一議員一問以内としています。

各議員のQRコードをスマートフォンで読み取ると音声配信が聴けるよ

近江うし丸

次回の一般質問は 令和4年6月16日(木)予定

議員の質問順は町ホームページでご確認ください。

問 議会事務局 電話 0748-58-3713

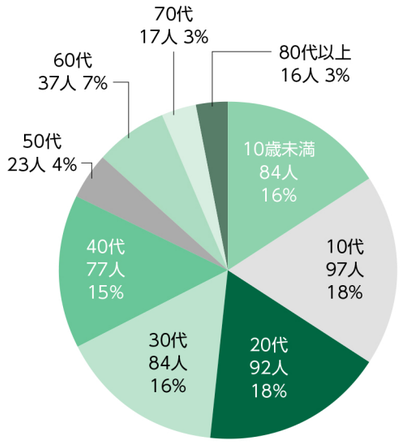
問 新型コロナウイルス感染症について

答 30歳未満の発症率が急増

磯部　俊男 議員

問
①年代別感染者数は。
②自宅療養での感染者世帯への町の生活支援対策は。

答
①令和4年3月16日現在527名の感染者。年代別では10歳未満84人、10代97人、20代92人、30代84人、40代77人、50代23人、60代37人、70代17人、80代以上16人。入院者数は累計で54人。
②生活支援対策は、感染により、外出が制限され、食料の調達が困難な場合は、県から自宅療養者への食料品の配送事業において支援がなされており、本町では1月から3月までに52件の利用があった。
今後も、自宅療養者の家庭において、その他の生活物資における不安が生じた場合は、相談支援につながるよう庁内組織また外部支援機関等と緊密に連絡調整、情報共有を図り、自宅療養者に寄り添う支援を実施していく。



令和4年3月16日現在の年齢別感染状況

問 竜王こども園と竜王西幼稚園の今後は

答 優先的に学童保育所として開所

大前　セツ子 議員

問
令和4年度より竜王こども園が開園されることになった。
①竜王こども園の入園希望状況は。
②職員体制は。
③竜王西幼稚園の今後の利活用は。

答
①令和4年2月末現在では、3歳児33人、4歳児39人、5歳児34人、各2クラスで開園予定。
②クラス担任と副担任の職員体制。
「認定こども園移行基本計画」に基づき、「一人ひとりの園児への手厚い指導と支援」を掲げ、長時間保育には、シフト勤務体制を取り入れ子どもたちの安全安心に努める。
③竜王西幼稚園の有効利活用について、重点施策プロジェクトとして検討してきた。
まずは、優先的に施設整備が急務な西小学校区の学童保育所として改修整備を実施していく。開所後も多用途に利用するために引き続き協議していく。

竜王こども園開園式の様子

問 竜王町総合計画に基づく今後のまちづくりについて

答 総合的な視点をもってしっかり対応する

小西　久次 議員

問
リーディングプロジェクトの推進と、今後のまちづくりについて伺う。
①交流・文教施設整備に55億円、町の年間予算が60億円、町税も34億円、今後も税収増が見込めるが、他の公共事業の計画は。
②優良な美田を残しながらの国土利用計画と都市計画マスタープランの土地利用計画の考え方は。
③都市計画の見直しと現市街化区域内未利用地の今後の対応は。

答
①工業団地全企業稼働後、約4億円の収入増を見込み、国・県補助を活用し、総合的な視点をもって財政の平準化を図り、他のソフト・ハード事業についてもしっかり対応する。
②竜王北部、南部、竜王IC周辺の機能強化をするとともに、若者をはじめ、町民の希望をかなえる土地利用を行いバランスの良いまちを目指す。
③区域の整備、開発方針の次の見直しは令和7年度の予定であり、積極的に市街化区域の拡大に繋げる。未利用地については、民間活力による事業化を積極的に促す。

企業立地可能な市街化区域

問 小児の新型コロナワクチン接種について

答 町として勧奨している

福田　優三 議員

問
現在、新型コロナワクチンは小児用ワクチンを5歳から11歳までの児童に対して接種できるようになった。しかし、厚生労働省のホームページによるとオミクロン株に対しての発症予防効果があるという根拠は示されていない。そこで次の2点について伺う。
①竜王町として5歳から11歳までの新型コロナワクチンの接種を推奨しているのか。
②新型コロナワクチンを早く受けた児童、受けたくても受けられない児童等、出てくると思うが学校での人権配慮の取組等を伺う。

答
①小児の接種においてはご本人、保護者が納得したうえで接種していただくことになる。新型コロナワクチン接種を実施する当町では接種を勧奨している。
②学校においては「コロナ感染症と人権」というテーマで「コロナ感染症対応に最前線で向き合っている人への差別」「根拠のないうわさなどからの差別」「感染した人への差別」について学習している。人権配慮については今後も重要な柱と位置づけ取り組んでいく。

小児ワクチン接種イメージ図

問 町としてのコンプライアンスの考え方は

答 透明性のある新鮮な情報を積極的に公表する

鎌田　勝治 議員

問 令和2年11月に発生した官製談合防止法違反等事件については、令和3年5月に再発防止策が町ホームページで公表されているが、町民への進捗報告が出来ていない現状を踏まえて次の3点について町の見解を伺う。

①報告が出来ていない理由は。

②今後タイムリーに情報提供する為に必要な対応策は。

③本件は町民との古くからの習慣や馴れ合いの関係に起因するものが影響していると思われるがその点について、町としてどのように考えるか。

答 ①再発防止策に対する進捗を公表することは、町民の信頼を回復する為に非常に重要であると認識している。令和3年度の取組については、年度末に一括して公表したい。

②町ホームページに専用ページを設けて町民へ分かりやすい情報提供が出来るように努めたい。

③町民の皆様には、協働でまちづくりを進めるパートナーとして、行政運営を十分説明し、情報提供する責務がある。

紙媒体だけでなく、ホームページ、しるみる竜王等のインターネットを通じたツールを活用し、透明性のある新鮮な情報を積極的に公表したい。

コンプライアンス職員研修の様子

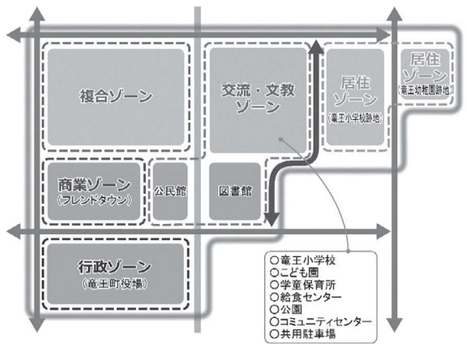
問 コンパクトシティ化構想における定住促進について

答 居住／複合ゾーンの整備検討は、小学校の詳細な建築スケジュールの決定時期から並行して実施

澤田　満夫 議員

問 本町では、これまで定住化促進等の人口減少対策に取り組まれてきた。現在も若者定住等の役割を果たす居住・複合ゾーンの整備が計画されている。しかし、2030年の目標人口を達成するためには、その取組開始が2025年の竜王小学校建設後では遅いのではないか。

答 竜王町コンパクトシティ化構想では、竜王小学校の建設を最優先とし、交流・文教ゾーンの整備を進めている。居住ゾーンについては宅地開発事業者等へのヒアリングを行ってきた。今後は、小学校の移転新築に係る詳細な建築スケジュールを決定する時期から並行して本格的な検討を行う。また、民間活力の活用を予定している複合ゾーンも各事業者から意見を聞いている。居住ゾーンとともに民間事業者が参入しやすいように町としての準備をし、併せて各ゾーンのコンセプトを明確にしていく。



コンパクトシティ化構想図

問 竜王中学校の制服のジェンダーレス化は

答 制服の選択制に向け検討をすすめていく

中村　匡希 議員

問 竜王中学校の制服は男子は学ラン、女子はブレザーにスカートと指定されているが、次の点について伺う。

①性別による違いをなくしたり選択性を可とするジェンダーレス化は検討されているか。

②私服登校についての考えは。

答 ①現在、性別等を問わずに選択できる制服について関係者と協議をしながら検討を進めている。ジェンダーレス化やLGBTQへの配慮、冬場や夏場の対策や機能面も考慮していく。

②私服登校については、現在のところ予定はしていないが、慎重な対応が必要と考える。

制服の選択制の実現が望まれる

LGBTQとは、レズビアン（女性同性愛者）、ゲイ（男性同性愛者）、バイセクシュアル（両性愛者）、トランスジェンダー（生まれた時の性別と自認する性別が一致しない人）、クエスチョニング（自分自身のセクシュアリティを決められない、分からない、または決めない人）など、性的マイノリティの方を表す総称のひとつです。

近江うし丸

問 日野川堤防の補強対策は

答 補強対策は計画的に進めるよう働きかける

森島　芳男 議員

問 日野川中流部の改修の方向性は示されているが、善光寺川から佐久良川合流地点までの区間については、相当な時間が必要と思われる。今後、台風・大雨による水位上昇が起こった場合の対策を伺う。

答 竜王町域を主とした「中流部」を次期河川整備計画に位置付けられるよう、県においては令和5年度の見直しに向け、現在手続きを進められている。善光寺川合流点から岩井地先までの約8キロメートルの区間を堤防の質的強化を行なう「Tランク河川」と位置付け、対策検討をされてきた。現在平成29年度の点検結果に基づき堤防補強工事を進められている。令和3年度現在、西川地先で堤防補強工事に着手、令和4年度には、弓削地先でドレーン工に着手予定であり、必要箇所の堤防補強対策に遅れが生じないよう計画的に進むよう働きかけを行なう。

日野川堤防中流部

問 公共施設の更新について

答 公共施設の適正化と持続可能な財政運営を図る

尾川　幸左衛門 議員

問 竜王町公共施設等総合管理計画によると、現在の公共施設の規模を維持し続けると、年平均で6.5億円不足するものと見込まれている。今後、人口が減少していく中、30年間で延べ床面積を約10％縮減し、10年間では約2％縮減するとなっている。今後のコンパクトシティ化構想による施設整備計画と竜王町公共施設等総合管理計画との整合は、図れているのかを伺う。

答 現在、施設の老朽化対策や少子高齢化の影響による行政課題の解決のため、竜王町コンパクトシティ化構想の実現に向けた中心核整備を進めているが本取組においても竜王町公共施設等総合管理計画と整合を図り将来世代に過度な負担を残さないよう、整備規模などの内容を十分精査し進めている。

今後は、公共施設等の適正化と持続可能な財政運営を図りたいと考えている。

老人憩いの家（解体前）

老人憩いの家（解体後）

問 中心核整備の進め方について

答 造成等の各種設計、施設ごとの基本設計を進め精査して示す

橘　せつ子 議員

問 ①令和4年度一般会計予算案で交流・文教ゾーンの造成・道路実施設計・用地取得等で約5億9千万円、竜王小学校の基本設計・実施設計で約2億2千万円が上程された。中期・長期の財政計画を示し、理解を得るのが本来のあり方では。

②事業の起債発行後の返済は、年約5.6億円となる。町年間予算の10％程度となり「適正な範囲」との事だが、その根拠は。

答 ①輝竜の郷づくり懇談会で一定の理解を得たと考える。財政計画を示すことは必要で、造成等の各種設計、施設ごとの基本設計を進め精査して示す。

②返済額が適正かの判断基準に実質公債費比率があるが、18％以上になると財政運営は厳しい状況となる。今後の事業見通しでは令和17年度頃が返済額のピークとなり、同比率が16％の見込みであり、健全な財政運営が可能である。

中心核整備予定地

～議会事務局長の紹介～

この度、4月1日付の人事異動により議会事務局長を拝命いたしました小森久美子です。

議員の皆さまのご意見が住民皆さまのご意思であるということを常に意識しながら、竜王町を住みよいまちにするために、議会活動推進に情報発信の強化を図りたいと考えています。

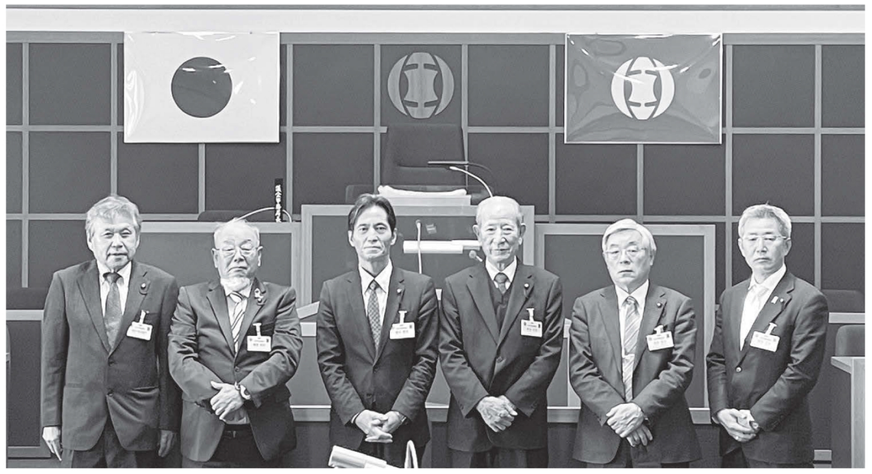
そのためには開かれた議会を目指し、本町のさらなる発展のため、議会活動の充実・支援に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

～議会広報特別委員会～

前号（No.198）から新しく議会広報特別委員会の委員に選任されました。

今後も町民の皆様に親しまれる紙面づくりをめざしてまいりますので、ご支援よろしくお願いいたします。

皆様のご意見、ご感想をお待ちしております。



委員	貴多　正幸
委員	澤田　満夫
副委員長	森島　芳男
委員長	鎌田　勝治
委員	磯部　俊男
委員	尾川幸左衛門

竜王町議会広報

■発行・竜王町議会
■編集・議会広報特別委員会

〒520-2592 滋賀県蒲生郡竜王町小口3
☎（0748）58-3713

竜王八景

石部神社

表紙

「竜王新古今八景」とは、町内各地に根付く、風習・人々の生業・現在まで受け継がれてきた地域の価値観・竜王を形づくる新しい顔を意識した心象風景です。

琵琶湖を望む丘陵地にある道の駅「アグリパーク竜王」。辺りの畑や果樹園では、1月の苺に始まり、さくらんぼ、葡萄、梨や柿など、行楽シーズンには家族連れが旬の味覚狩りと新鮮な野菜を求めて、町内外から多くの買い物客が来られます。また春には、菜の花やチューリップが来訪者の目を楽しませてくれます。遠くには、日本三大和牛「近江牛」の牛舎群がこの野の風景を彩っています。

このように、「竜王の農の恵み」を届け続ける丘陵地は、人々の新たな交流を産み出し、私たちの日々の生活に潤いを与えてくれる「恵みの道」といえます。

なお、裏表紙の「竜王八景」は、七里の石部神社です。

編集後記

新緑が映える好季節を迎え、4月からは、幼保一体型の竜王こども園が開園し、将来の竜王町を担う園児たちが楽しそうに登園しました。一方、世界では、オミクロン株による新型コロナウイルス感染者数がピークに達しつつある2月24日、ロシア軍がウクライナに侵攻し、町議会では、その侵攻を非難し即時撤退を求める決議をしました。

また、上程28議案も慎重審議のうえ可決しましたが、特にコンパクトシティ化構想実現に向けた予算を含め、将来に向けた投資を行う積極的なものです。今後も、皆さんのご意見を聞きながら提案と審議をしてまいります。

議会広報特別委員会

委員長　鎌田　勝治
副委員長　森島　芳男
委員　澤田　満夫
委員　尾川幸左衛門
委員　磯部　俊男
委員　貴多　正幸

VEGETABLE OIL INK
環境保護印刷
環境に配慮し、再生紙及び植物油インキを使用しています